

くにさき少年少女
発明クラブ
事務局発行

発明クラブ通信



風はなぜおきる？

第2回クラブ講座

持ち運びできる

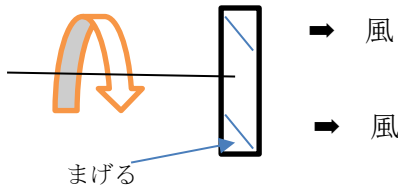
せんぷう機をつくろう！

6月18日（土）に、2回目のクラブ講座が開かれました。これから暑くなった時に、持ち運びできるせんぷう機があると便利ですね。



●まずどうすれば風がおきるか考えよう。

せんぷう機の羽はなぜ風を作るのかを、紙と竹ぐしで考えてみました。ほそ長い紙に竹ぐしをさして、手で回してみました。しかし、羽の先を左右両方とも、少しおりまげると風がおきました。どうしてなのでしょう？



羽をまげることで空気が前におしだされ、風が生まれます。ただまげる方向をまちがうと、後ろ側に風がふくようになります。

●モーターと電池をつなごう。



モーターと電池パックを細長い板にとりつけます。両面テープだけでは弱いので、モーターはテープをまいておきます。電池をつけてコードをつなげば、モーターがまわります。しかし、ここで問題があります。

スイッチがありません。

スイッチがありません。

●スイッチはどうすればいいだろう？

いつもコードをつないでいるわけにはいきません。スイッチがあれば使う時に動かすことができます。みんなで考えてみました。簡単な方法の一つに、クリップを使う方法があります。



2つのクリップをひきのばし、がびょう（止めピン）で固定します。クリップを片方のクリップにくっつけると、モーターが回りはじめます。クリップの片方をはなしてモーターがとまれば、スイッチの完成です。



クリップの片方をはなしてモーターがとまれば、スイッチの完成です。

●羽を作ってみよう

つぎに紙皿を使って、せんぷう機の羽をつくりまします。最初に実験したように羽の折り曲げ方によって、風の強さや向きが変わってきます。みなさんのくふうによって、いろんな羽をつくってみましょう。

●最後にスタンドをつけよう。



持ち運びしやすく、また机に置いて使えるように、スタンドをつけると便利です。牛にゅうパックの紙を使って、い

ろいろスタンドを発明してみました。すばらしいアイデアのスタンドにおどろかされました。これで完成です。



（↑うまくできたよ！）

発明くふう作品の設計図づくりに

チャレンジしています。

今回も最初の30分間は、発明くふう作品づくりを行いました。自分や家族のこまっっていることを思い出して、簡単に作れる便利な発明品づくりにチャレンジしてほしいと思います。

設計図ができた人は、材料さがしを行います。まず家にある紙や箱などいらぬものを材料にしてみましょう。不要なものを再利用できると、ゴミをへらすこともできます。時間がある時に、家の人に聞いてみて材料になりそうなものを集めておくとういと思います。



家になぬ材料は、100円ショップなどで購入します(材料費はクラブより支出)。

どんなアイデア発明品ができるか、とても楽しみにしています。

8月31日までに作品説明図(設計図のこと)を事務局に提出して下さい。作品は9月14日まででかまいません。

(8月講座のおしらせ) ■開催日 ~ 8月10日(土) 9:30~

■場所・内容 ~ 国東市役所2階(201~203) ・「おもしろものづくり講座」

■持ち物 ~ ・筆記用具・はさみ・ものさし・活動ノート ・参加費 300円

※8月31日(土)の臨時講座は、発明くふう作品づくり(希望者のみ)

8月は講座が2回ありますが、後半の31日(土)は県発明くふう展に出展する作品づくりのための講座です。時間と場所は下に書いてあるとおりです。作品づくりが家庭では思うようにすすまない方は、この講座で完成をめざしてください。

ただし、希望者は、8月23日(金)までに発明クラブ事務局(0978-72-2121の田中、または岐部まで)に必ず連絡してください。

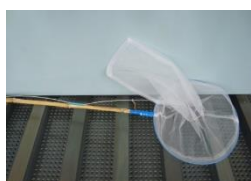
日時・場所 ~ 8月31日(土) 9時30分より **アストくにさき 中会議室**

※参加費は無料ですが、希望者が1名の時は中止いたします。臨時講座の出席は、皆勤賞には関係ありません(皆勤賞の会員には、最後の閉講式ですばらしい賞品がでます。)

<過去の県発明くふう展入賞作品紹介>

「虫をにがさない虫とりあみ」

(2016年 県発明協会奨励賞)



安岐中央4年 吉岡さん
「あみのもとにひもをつけて、ひっぱるとあみがしまる発明品です。」

「両面熊手」

(2019年 大分県知事賞)



武蔵東5年 森さん
「熊手の大小をくみあわせて、落ち葉の大きさによって使い分けできます。」